

「でんさい」利用企業の事例紹介



株式会社 柿本商会

2019年6月21日

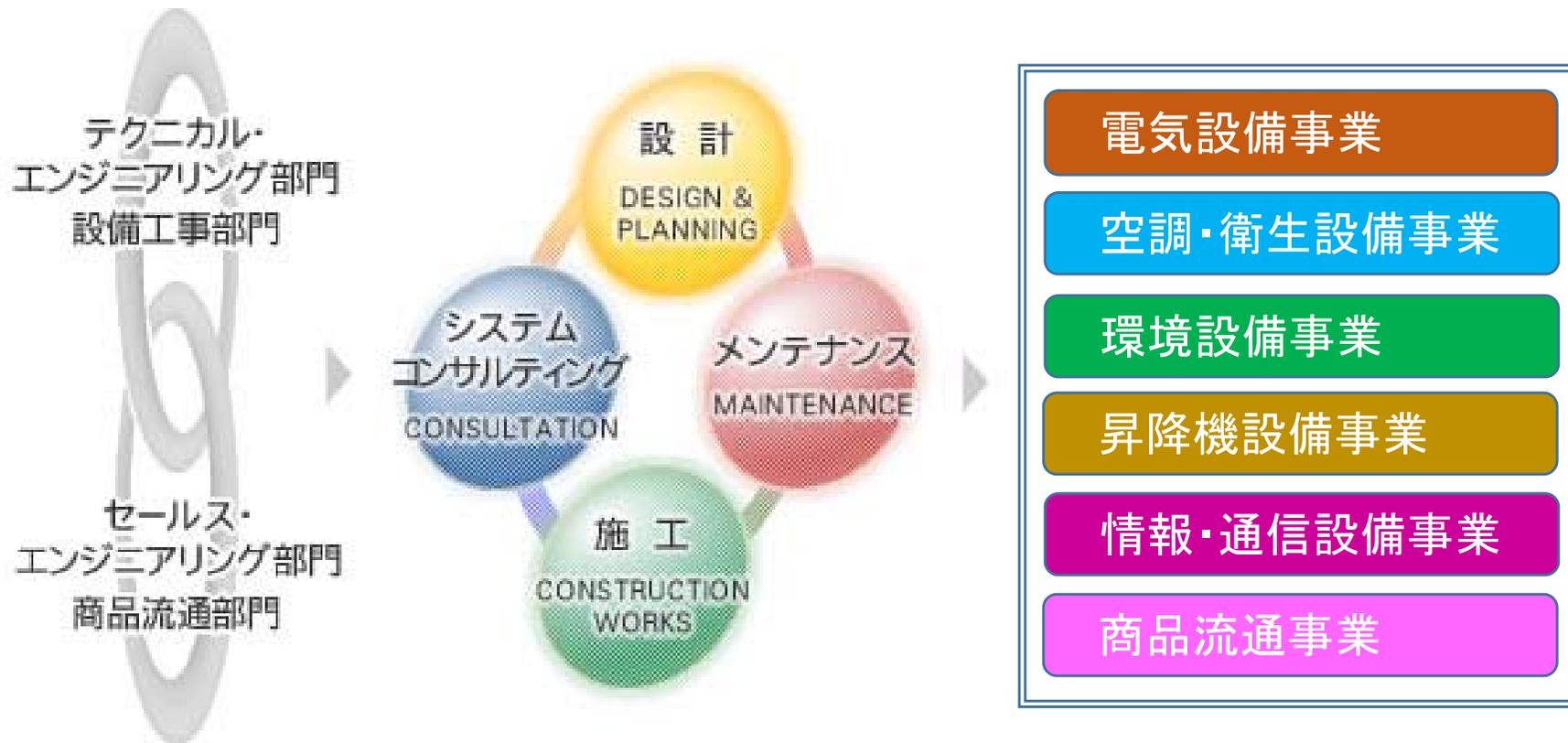
1. 企業概要
2. 事業紹介
3. 施工実績
4. でんさい導入前の支払方法
5. でんさい導入のきっかけ、経緯
6. でんさい導入までのスケジュール
7. でんさい導入による効果
8. 苦労した点
9. 課題と対応
10. 「でんさい」検討中の企業さまへ

1. 企業概要

- 商号 株式会社 柿本商会
- 代表者 取締役社長 柿本 自如
- 本社住所 石川県金沢市藤江南2丁目28番地
- 事業内容 電気設備・空調衛生設備・上下水道環境
設備他の設計・施工・メンテナンス
- 資本金 3億円（創業 昭和21年、設立 昭和26年）
- 売上高 193億8,800万円（平成30年1月）
- 従業員数 364名
- 事業所 本社／金沢
支店／東京・名古屋・富山・福井
営業所／加賀・白山・能登・富山西部

2.事業紹介

企画からメンテナンスまでの一貫した技術提供。
カキモトは進化するシステムに、総合力で応えます。



3. 施工実績

金沢商工会議所会館



空調

衛生

石川県庁



電気

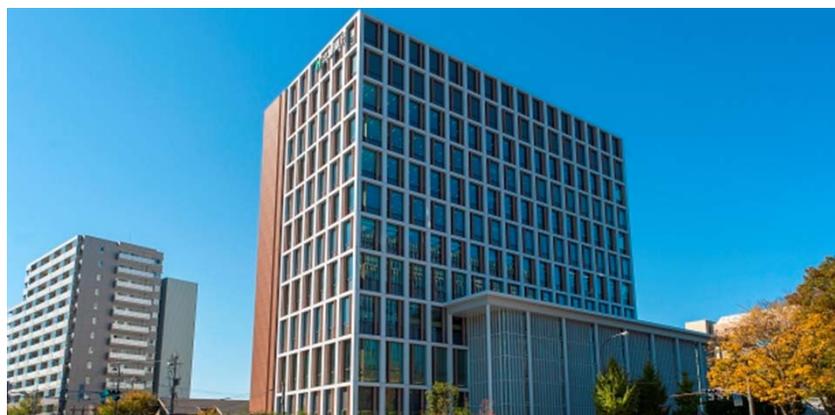
空調

北陸新幹線板倉消雪基地



環境

北國銀行本店



空調

衛生

4. でんさい導入前の支払方法

毎月約**800**件の取扱先

当月15日（請求書締）

- 請求内容の確認
本社支店各部署の担当者が内容確認し、支払金額を決定

当月（月末）～翌月（月初）

- 請求金額の集計
支払条件に従って手形・現金（振込）額を確定

翌月8日（買掛金締日・支払金額の確定）

- 現金振込（10万円未満）・・・約100件
- 小切手及び手形の発行 ⇒ 金沢市内業者は**原則集金**（市外は郵送）
宛名の記入
チェックライターによる金額印字・・・約**700**件（小切手約**300**件・手形約**400**件）
押印
印紙貼付（手形）

翌月15日（支払日）

- 集金来訪者への受付対応

手入力・手作業による事務対応 ⇒ 多くの時間と作業労力が必要！

5. でんさい導入のきっかけ、経緯

会計部門の悩み

手形発行業務は会計部門の事務負担が大きい

- 手形発行枚数は月間**400枚超**
- お取引先さまからの分割発行依頼にも個別対応
- 印紙税を節約するため、手形を分割発行



きっかけ

- 毎月多くの人員と時間が割かれていた**手形発行業務の改善が急務**であり、支払金額の確定から支払手続完了日（**リードタイム**）までの時間短縮をしたい
- とにかく、**ペーパーレス化**したい
- **コストダウン**を図りたい（労働時間の短縮）
- 「でんさい」の県内での**普及率が30%を超えてきたこと**



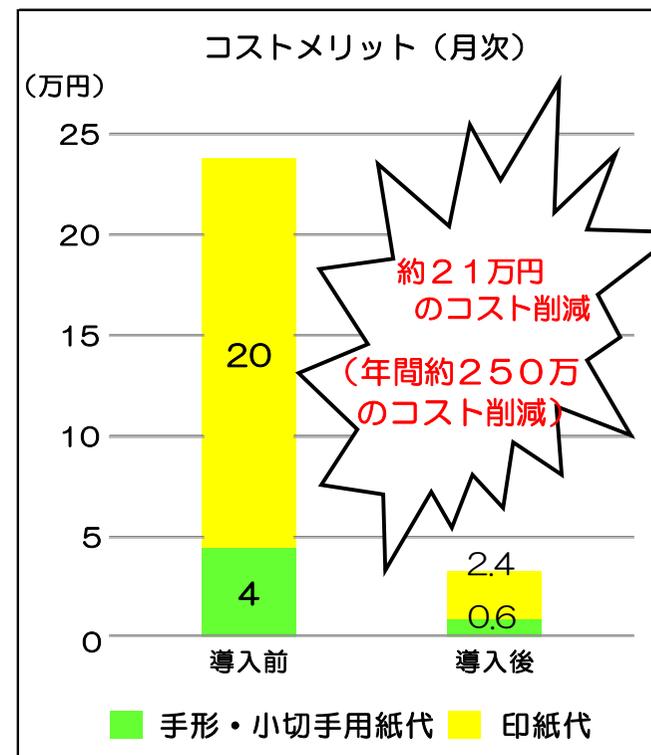
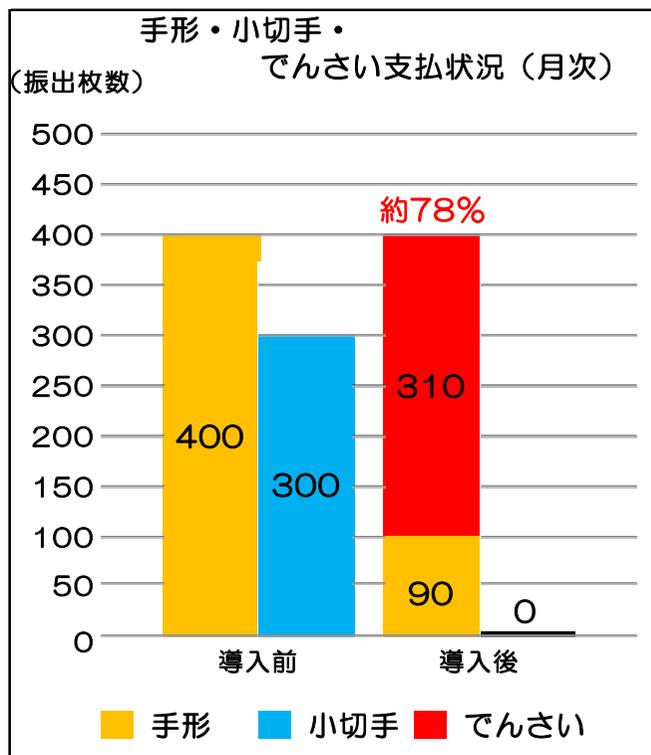
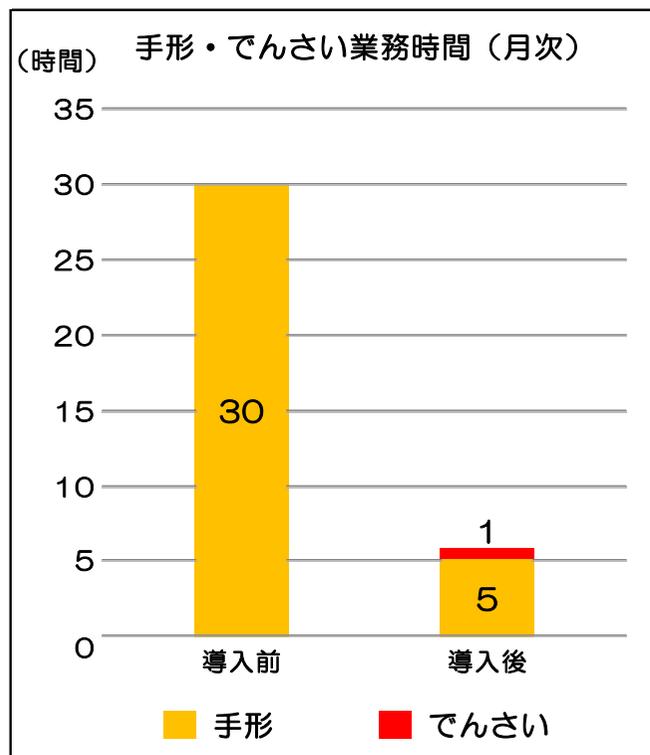
支払いに「でんさい」を導入できないか

6. でんさい導入までのスケジュール

概要	時期	2018						2019					
	2016	2	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
でんさい導入の検討開始	2016	メリット試算・ソフトウェア選定・でんさいセミナー受講											
社内向け説明会実施		導入に向けての社内説明											
取引先へのアンケート送付・回収		直近3か月取引先（約700社）に送付・回収											
システム改修		当社会計システムの対応・動作確認 ※「電子債権の達人」の導入											
取引先説明会の開催		石川・富山・福井の3会場で実施											
試験的利用開始		大口取引先30業者に対し、でんさい支払開始											
でんさい利用開始		本格稼働（2018.12～）											

※でんさいや手形など5種類の債権債務を管理可能なソフト。インターネットバンキングへのアップロードデータの作成可能。

7. でんさい導入による効果

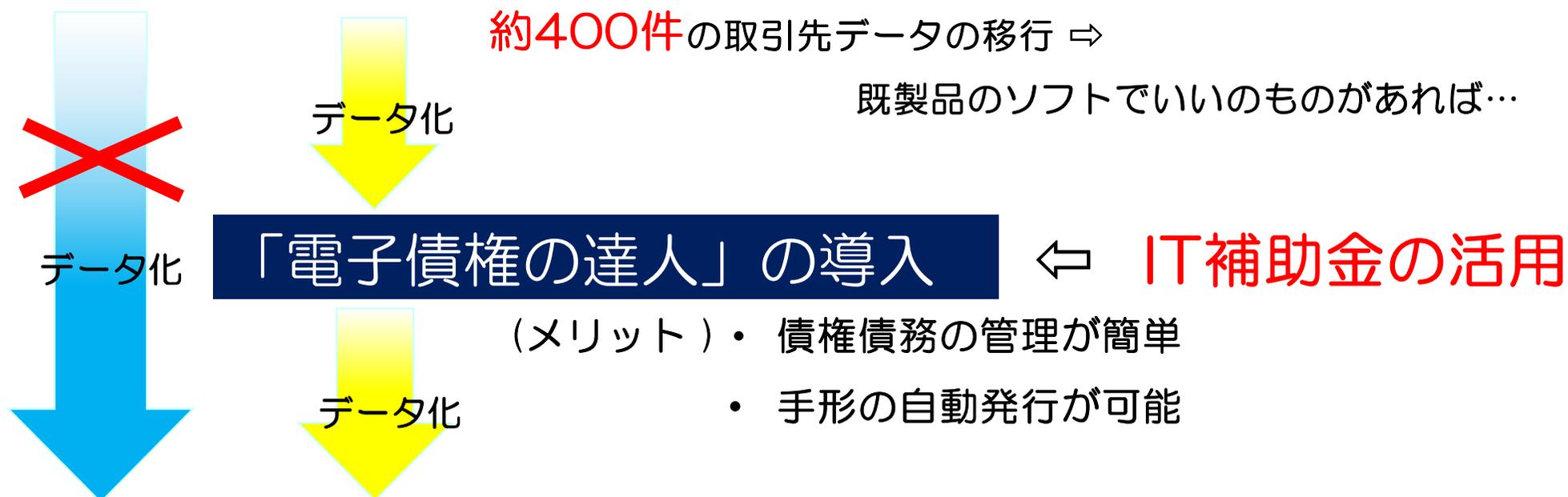


でんさい導入による業務時間は**約6時間 (導入前の1/5)** ⇒ **リードタイムの短縮**
 手形振出枚数の**約78%**がでんさいへ移行 ⇒ **ペーパーレスの進展**
手形・小切手用紙代・印紙代がかからない ⇒ **コスト削減**

でんさい件数が増えても**業務時間は増えない**
 手形発行枚数が減れば減るほど、**他の仕事をこなす時間が増える**
 でんさい導入を機に支払を本社で一括管理 ⇒ 支店の**事務負担軽減**

8. 苦労した点

独自の会計システム



北國銀行でんさいシステム

- ・ 既存の取扱先データと「電子債権の達人」との連携
(フォーマットを自社基幹システムで作成)
- ・ 手形とでんさいの2重管理が煩雑になるのではないかと不安
- ・ アンケートにて「検討している」、「これから検討する」と回答してきた取引先への追跡調査

でんさい利用率100%の実現に向けて

課題

「でんさい」への切替応諾先は当初約64%だった（アンケート集計）

対応

メインバンクである北國銀行や全銀電子債権ネットワークの協力を得て各拠点（石川・富山・福井）で協力業者向け説明会を実施して「でんさい」への理解を図った

大企業へのメリットは当然のことながら、むしろ中小・零細企業もしくは個人企業（一人親方）を営む方々にとって大きなメリットがあることをアピールしていく

でんさいを利用して…

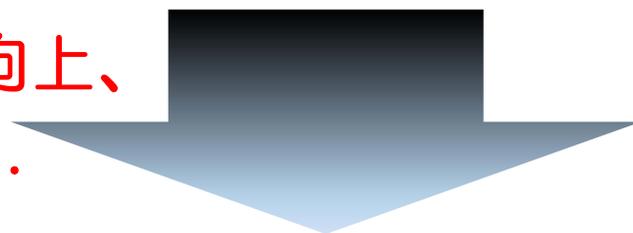
業務が効率化する（作業事務負担の削減）

支払側だけでなく受取側にもメリットがある

（入金日資金化可能・領収書印紙の不要）

コスト削減につながる（業務時間短縮による残業時間減）

働き方改革、生産性向上、
人手不足 etc …



「でんさい」の導入をお勧めいたします

ご清聴ありがとうございました。



株式会社 柿本商会